

夢は言葉にすることで 現実になる

静岡SSUポニータ

はっとりかのん
服部 花音 選手

2004年生まれ

浜松市中央区出身

背番号 23、ポジション ディフェンダー

写真提供: 静岡SSUポニータ



写真提供: 静岡SSUポニータ

「見て面白いプレーをします！
ぜひ試合を見に来てください」

静岡県を拠点に活動し、日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)1部に所属するサッカーチーム、静岡SSUポニータ。ディフェンダーとして活躍する、中央区出身の服部花音選手にお話を伺いました。

— サッカーを始めたきっかけは？

4つ上の兄の影響でした。兄がサッカーを習っていて、私もやりたい！と体験に行ってみたら楽しくて、5歳で相生FCに入団し、それから15年間サッカー一筋です。サッカー選手を夢見たのは小学3、4年生の頃で、七夕の日、短冊に「サッカー選手になりたい」と書いていました(笑)。

— 最近、ポジションが変わったと聞きました。

去年の8月ごろ、ミッドフィールダーからディフェンダーに変わりました。初めは何もかも分からなくて大変でしたが、今はこのポジションが一番楽しいです。サイドの守備では1対1になる場面が多いので、相手を上回るプレーをしてボールを奪い取ることができたときはうれしいです

ね。オーバーラップ※して攻撃に参加できるのも魅力です。
※オーバーラップ: 後方のディフェンダーが前方へ上がって攻撃に参加すること

— 静岡SSUポニータはどんなチームですか？

静岡SSUポニータは、個人の技術で戦うというよりも、パスで相手を崩して攻撃するといったチームプレーを大切にしています。

個性豊かなメンバーが集まっていますが、選手同士コミュニケーションがしっかりと取れているのでフィールド上での連携は抜群です。

— スポーツ選手として、普段から

気を付けていることはありますか？

お菓子やアイスを控えること、早寝早起きすること、朝ごはんをしっかり食べることを心掛けています。規則正しい生活で体調を整え、日々の練習に取り組んでいます。

また、ゴミが落ちていたら拾うなど、身の周りに気を使って生活しています。日頃の行いは、プレーの質につながり、重要な場面で結果を左右すると思います。

— 試合では緊張しますか？

いつも緊張します。ただ、程よい緊張はパフォーマンスを高めるために必要だと思います。静岡SSUポニータへの加入が決まった時、兄から「自分が一番うまいぐらいの気持ちでや

れば大丈夫」と言われたのを覚えています。この言葉を胸に、緊張したときは「自分が一番」と言い聞かせてプレーしています。

— 夢をかなえるために大切なことは何だと思いますか？

常に目標を口に出すことです。言葉にすることで責任が生まれ、行動につながります。家族でも、友達でも、身近な人に自分の夢や目標を伝えてみてください。

— 3月からシーズン開幕ですね。目標を教えてください。

チームとしての目標は、去年のリーグ7位という記録を超えることです。個人としては、守備だけでなく、アシストやゴールなど、得点に絡むようなプレーをしたいです。ぜひ、応援よろしくお願いします！

静岡SSUポニータ 開幕試合

3月16日(日) 13:00～

● 対戦相手

朝日インテック・ラブリッジ名古屋

● 会場

エコパスタジアム(袋井市愛野)

チケットの情報はこちら▶

静岡SSUポニータ公式ウェブサイト



浜松市公式noteでも「LOVE SPORTS」を読むことができます。